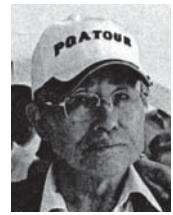


ふるさとのみなさんへ 東都高原富士見会だより



樋口 達
(とちの木出身)

「苦い過去乗り越え交流」
1941年5月。当時9歳
だつた私は、旧満州開拓団の一人として、中国東北部の黒竜江省木蘭県を目指し、生まれ育った富士見町をたつた。
午前中は国民学校で勉強、午後は農作業を手伝う日々だった。当時は地主となつた日本人が小作人の中国人を雇っていた。だが、日本の敗戦を機に立場が逆転。一部中国人の日本人に対する襲撃につづつた。「忘れもしない」8月21日。襲撃に反撃した友人が目の前で命を奪われた。中国人に恨みを買った日本人がたくさん襲われました。日ごとに犠牲者は増え、わずかな食料を分け合ひながら、学校や病院に集まつて身を隠した。

敗戦から1年、待ちわびた「引き揚げ命令」が出された。汽車や船を乗り継ぎ、祖国に向かう旅路、栄養失調やはしかの流行で、幼児が次々と命を落とした。千人で入植した開拓団は、引き揚げ時には600人に減つていった。「これが戦争」。そのむごさを忘れることは一度もない。戦後、日本中関係が改善されてから、「

犠牲となつた仲間を供養するため国民学校の同級生で「木蘭友の会」を結成。85年から日中友好を兼ねて1年おきに墓参りのた

め木蘭を訪問、草の根の民間交流を続けた。

「もちろん中国人を恨んだこともある」。だが、「もと

もと彼ら彼女らの土地を侵

略し、その生活を奪つたの

は日本」。強盗や女性への暴

行が横行した占領下。私

胸の内には、日本人として

の加害意識が常にある。そ

れでも10回近い訪問の中、

戦争の加害者としてとがめ

られたことは一度もない。「中

国人の人々に感謝しないと」。回

数を重ねるごとに深めた交

流は、現地の公園建設費や

災害の復興資金として10

0万円以上を寄付するまで

に発展した。

高齢化や家庭の事情で99

年以降訪中が途絶えていた

「友の会」だが、現地の要望

に応じ13年ぶりの訪問が実

現。会員5人で現地の住民

らと変わらぬ友情を確認し

た。終戦の日を迎えたび

に旧満州でのさまざま

きごとを思い返す。戦争で、

多くの命を奪い、奪われた。

日本に引き揚げてから66

年。私は互いの苦い過去

乗り越え、「日本人」と「中国人

という枠を超えて、市民レベルで交流を続けていくこと

が、真の平和につながること

信じている。

下水道に接続し「きれいで快適な生活」

問 上下水道課 庶務経理係 ☎62-9352

●下水道への早期接続を!

さわやかな環境、快適な生活を与えてくれる下水道の整備には、多くの費用がかかっています。この多額の資金を投入して整備した下水道も町民の皆さんに利用していただかないと、無駄な施設となってしまいます。また、処理場・ポンプ場・管清掃などの維持管理費や、建設時の借入金返済を利用者からの使用料によります。なっていかなければなりません。

このようなことから、下水道が使用できる区域の方は、一日でも早く接続されますようご協力をお願いします。宅内排水工事に関する手続き等は、町指定工事店が代行しますのでお気軽にご相談ください。

(下水道の宅内排水工事は、町指定工事店でなければ行うことができません)

●120万円を無利子で融資斡旋

町では、町民の皆さんに一日でも早く快適な生活をしていただくため、下水道への接続工事をされる方に、無利子で金融機関から最高120万円を7年間返済で借りることができます「融資斡旋制度」を設けています。詳しくは上下水道課 庶務経理係にお問い合わせください。



下水道は正しく使いましょう ~9月10日は下水道の日です~

問 上下水道課 施設整備係・維持管理係 ☎62-9354

町では、皆さんができるよう、また汚水の浄化機能を十分に發揮できるように、「下水道の管理」を行っています。

しかし、使い方が悪いと下水道施設が故障したり、管理費用が多く発生します。下水道を正しく使いましょう。

●トイレットペーパー以外は流さない

水に溶けやすいトイレットペーパー以外のティッシュペーパーや新聞紙、紙屑などを流すと排水管が詰まる原因となります。また、紙おむつや生理用品なども纖維が引っかかる原因になるので、流さないようにしましょう。

●油を流さない

「石けん」と「水」と「油」が化合すると、固まって下水道管が詰まります。食用油は町でも資源物として回収しているので、リサイクルにご協力ください。

●生ゴミを捨てない

生ゴミ等も「詰まり」の原因になります。野菜くずや残飯などは流さないでください。

●詰まるものは流さない

固いものや布類は、排水管、ポンプ場、処理場などで詰まる原因となるので流さないようにしましょう。

